取扱説明書

S-W026-Y/B

目次

1：付属品を確かめる

2：本機の主な特徴

3：カメラ・モニター本体の各部の名称

4：使用方法

Ⅰ：充電をしてみよう
Ⅱ：電源を入れよう
Ⅲ：撮影時に画像に表示される時間を設定しよう
Ⅳ：時計の時間を調整しよう
Ⅴ：モードの変更をしてみよう
Ⅵ：電源を切ってみよう
Ⅶ：動画を録画してみよう
Ⅷ：静止画を撮影してみよう
Ⅸ：ボイスレコーダーを使ってみよう
Ⅹ：録画／録音したものを再生してみよう

5：注意事項

1:付属品を確かめる

① 時計型カメラ本体×1 台
◎映像を撮影するカメラと時計部分です。

② USB コード×1 本
◎時計型カメラと USB 電源アダプタや、パソコンと接続するケーブルです。

③ USB 電源アダプタ×1 個
◎時計型カメラを USB コードで繋いで、家庭用コンセントから電源を供給することが出来るアダプタです。

2:本機の主な特徴

- 時計に内蔵のカメラで、動画撮影を行うことができます。(映像と音声)
- 時計に内蔵のカメラで、静止画撮影を行うことができます。
- 時計に内蔵のマイクで、音声録音を行うことができます。
- 時計機能としても使えます。
- 2GB の内蔵メモリを標準装備しております。
- 高画質 HD 録画をすることが可能です。
- 130 万画素の高画質対応です。
- 生活防水機能が標準装備されております。
- パソコンや家庭用コンセントより充電が可能です。
- 満充電の状態で、約 70 分の動画撮影が可能です。

3:時計型カメラ本体の各部の名称

【ワイヤレスカメラ各部名称】

① 電源・撮影・停止ボタン…電源を入れたり、撮影の開始／停止に使用するボタンです。

② 時計調整…時計の時間調整に使用するつまみです。

③ モード変更ボタン…動画／静止画／ボイスレコーダーのモード切り替えに使用するボタンです。

④ USB 接続部…付属の USB ケーブルを差し込む部分です。蓋がついております。

⑤ カメラ…時計内のカメラ部分になります。12 の下部分です。

⑥ LED…操作によって LED が表示されます。

⑦ マイク…時計内のマイク部分になります。7 の下に隠れております。

図 1

4:使用方法

＜Ⅰ:充電をしてみよう＞
時計の USB 接続部に付属の USB コードを差し込んで、USB の部分を付属の USB 電源アダプタに繋ぎ、家庭用コンセントへ差し込んでいただくか、パソコンの USB 部分に接続をして下さい。

充電を開始すると、次のように LED を表示します。
赤い LED が点灯→青い LED が点滅→充電開始

充電が完了すると、次のように LED を表示します。
赤い LED が点灯→青い LED が点灯→充電完了

＜Ⅱ:電源を入れよう＞
電源を入れるには、図 1 の①のボタンを長押しして下さい。
電源が入ると、次のように LED が表示され、自動的に動画の録画が開始されます。

赤と青の LED が同時に点灯→赤い LED が点灯→青い LED が点灯→青い LED が点滅(3 回)→LED が消灯→動画の録画開始

録画を停止するには、図 1 の①のボタンを 1 回押していただくと停止します。停止すると、青い LED が点灯して、待機状態となります。

待機状態で、動作を行わずに放置しておくと、3 分で自動的に電源が OFF になります。
(電源が落ちる前に、赤い LED が数回点滅して消えます)

＜Ⅲ:撮影時に画像に表示される時間を設定しよう＞
時計型カメラと付属の USB コードを接続して、USB 部分をパソコンへ接続します。
リムーバルディスクとして、認識されますので、TIME SETTING をクリックして下さい。
次に、WriteTime.exe をクリックして、表示されるメッセージの更新をクリックしていただくと、更新が完了いたします。
更新が完了したら、表示されたメッセージは消して下さい。

更新される時間は、パソコン内の時間が反映されますので、あらかじめ、パソコン内の時間を調整しておいて下さい。

＜Ⅳ：時計の時間を調整しよう＞
図 1 の②のボタンを引っ張って、回していただくと時間調整が可能です。

＜Ⅴ：モードの変更をしてみよう＞
待機状態で、図 1 の③のボタンを押していただくと、モードが切り替わっていきます。
モードの見分け方は、LED の点き方で判断します。

動画…青い LED が点灯
静止画…赤い LED が点灯
ボイスレコーダー…赤と青が点灯

モード選択後、図 1 の①のボタンを押していただくと、選択したモードでの録画および録音を開始します。

※動画およびボイスレコーダーを使用される場合は、マイク部分を開放して使用して下さい。マイク部分は通常数字の 7 の下に隠れておりまして、文字盤（1～12 の数字が書いてある外枠）を回すと、6 の位置にある穴が、7 の位置に移動し、マイクが開放されます。

＜Ⅵ：電源を切ってみよう＞
図 1 の①のボタンを長押ししていただくと電源を切ることができます。
電源が切れるときには、赤い LED が数回点滅して OFF になります。

＜Ⅶ：動画を録画してみよう＞
動画モードの待機状態（青い LED 点灯）から、図 1 の①のボタンを 1 回押します。
青い LED が 3 回点滅して、消灯すると、録画が開始されます。
※録画中は LED は点灯／点滅しません。

録画を停止するには、図 1 の①のボタンを 1 回押します。
青い LED が点灯して、動画モードの待機状態に戻ります。

＜Ⅷ：静止画を撮影してみよう＞
静止画モードの待機状態（赤い LED 点灯）から、図 1 の①のボタンを 1 回押します。
一度赤い LED が消灯して、撮影が完了し、赤い LED が点灯して、静止画モードの待機状態に戻ります。

＜Ⅸ：ボイスレコーダーを使ってみよう＞
ボイスレコーダーモードの待機状態（赤と青の LED 点灯）から、図 1 の①のボタンを 1 回押します。
赤い LED が点滅して、録音が開始されます。
録音中は、赤い LED が点滅しております。

録画を停止するには、図 1 の①のボタンを 1 回押します。
赤と青の LED が点灯して、ボイスレコーダーモードの待機状態に戻ります。

＜Ⅹ：録画／録音したものを再生してみよう＞
時計型カメラと付属の USB コードを接続して、USB 部分をパソコンへ接続します。
リムーバルディスクとして、認識されますので、DCIM のフォルダを開いて、再生したいファイルを選択していただくと、再生が開始されます。

動画→拡張子 AVI　静止画→拡張子 JPG　ボイスレコーダー→拡張子 WAV

パソコンから取り外すときは、USB　の取り外し処理を行ってから、取り外して下さい。
そのまま抜いてしまうと、時計内のメモリ破損やデータの消去に繋がる可能性がございますので、お気をつけ下さい。

5:注意事項

- 音声の録音時には、時計が稼働する音も一緒に録音されます。
- 音声を録音されるときには、文字盤をスライドして、マイク部分を開放して下さい。
- 生活防水機能は、多少の水が掛かる程度を想定しておりますので、水に浸かると故障の原因となりますので、お気を付け下さい。また、マイク部分を開放しているときには、マイクに水が入る可能性がございますので、文字盤をスライドして水が入らないようにお願いします。
- 映像の撮影方向は、固定されておりますので、画面の反転機能などはついておりません。
- パソコンから取り外すときには、必ず取り外し処理をしてから取り外して下さい。
- 充電中には、録画や録音はできません。
- 時計内のファイルを再生中には、充電はされません。